

沖縄水産高等学校 海洋技術科 授業プランシート

単元名 わくわくセカンドスクール 関連する教科 総合実習 時間 150分

達成が期待できるSDGs



1 本時のねらい

<p>(身に付けさせたい力) ※キャリア教育形成能力 実習で学んだ専門的な知識や技能を活用し、表現の場として児童生徒と共に体験し教え伝えることで、これまでの学習の定着や基礎的汎用的能力の向上が期待できる。</p>	<p>(評価場面・方法) 児童生徒と向き合い、どのような教え方が効果的か考え、計画し、それを実践できたかを各自の振り返りシートにて評価する。</p>
--	--

2 まとめ、振り返り

<p>(まとめ) プログラムを体験した児童生徒の感想や表情から、教えることの難しさや楽しさ、喜びを身近に感じ、知識・技能における学びの定着を図る。</p>	<p>(振り返り) リトルティーチャーとなって教えることで自己肯定感が育まれ、自分自身が成長することを実感する。</p>
---	--

3 めあて

海洋基本法に基づいた海洋基本計画を念頭に、リトルティーチャーとなってこれまで学んだ専門的な知識と技術を児童に伝え、一人でも多くの児童が海に興味関心を持ってもらえるよう海洋教育の楽しさを伝える。

4 本時の展開

<p>導入(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面式 ・わくわくセカンドスクールの目的の確認 ・事前シナリオの確認 	
<p>展開(120分)</p> <p>○隊列訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隊列の目的と意義を伝え、緊急時の点呼に役立つことを説明 ・最初に高校生が見本となり号令や隊列の仕方を教える ・次に児童生徒が指揮者となり号令を出して隊列を整える <p>○基本ロープワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船員にとっての基本作業ロープワークについて解説 ・基本的なロープワークを教え、日常生活や防災でも活用できる結び方を紹介 <p>○カッターボート漕艇体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生と児童生徒がペアとなり、協働作業で漕艇体験する ・児童生徒が艇長となり指揮者の掛け声に合わせて漕ぐことで一体感を体験する ・歴史ある糸満漁港を紹介しながら様々な船を紹介、又沖縄県唯一の造船所について解説しながら遊覧する <p>※それぞれ40分交代で3ローテーションする ※安全には十分配慮し児童生徒をエスコートする</p>	
<p>まとめ(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉会式 ・児童生徒及び高校生お互い体験を通した振り返りと感想の共有 ・質疑応答 	